

2022年度 SYLLABUS 【博士前期課程】

授業科目名：ミクロ経済学特論Ⅱ	
担当教員名：森 統	
授業科目概要： 本講義では、奥野正寛編著『ミクロ経済学』「第Ⅱ部 ゲーム理論と情報・インセンティブ」をテキストとして用いる予定である。本書に基づいて、ゲーム理論、情報・インセンティブの理論、不完全競争、市場の失敗に関する主題を扱う。ゲーム理論、情報・インセンティブの理論は、近年ミクロ経済学に必須のものとして多く取り入れられてきており、さらに発展を続けている。また、伝統的に扱われてきた、不完全競争理論や市場の失敗とそれに対処する公共政策についてもゲーム理論やインセンティブの理論を応用した新たな展開がなされてきている。 これらの内容について (受講者が)その理論構造を厳密に理解することをめざしてゆく。ただし、受講者と相談の上、テキストを変更することもある。	
履修上の留意事項： ミクロ経済学特論Ⅰを履修済みであること。 教科書を精読するよう心がけること。	
教科書・参考書（参考文献）	
書名：ミクロ経済学（教科書） 著者／編者：奥野正寛 出版社：東京大学出版会 出版年：2008	書名：ミクロ経済学演習第2版(参考書) 著者／編者：猪野・井上・加藤他 出版社：東京大学出版会 出版年：2018
書名： 著者／編者： 出版社： 出版年：	書名： 著者／編者： 出版社： 出版年：
書名： 著者／編者： 出版社： 出版年：	書名： 著者／編者： 出版社： 出版年：
評価方法及び判定基準： 授業において適宜課す課題(発表・レポートなど)の出来栄に応じて評価する。	
授業目標及び進め方：（以下、ミクロ経済学特論Ⅰと同様である） 教科書に沿って、主として講義形式で進めるが、ときに教科書・参考書の特定のパートや演習問題の解法について受講者の発表を求めることがある。 本講義では、受講者が、ミクロ経済理論に習熟し、ミクロ理論にもとづいた内外の専門的論文を読みこなすこと、また、理論を応用し独自の分析をするための最低限の力を身に着けることを目標とする。特に、必要とされる数学的展開に十分になじむことを意識して進めてゆきたい。 受講者の関心や意欲に応じて、より詳しい内容や展開を他の文献から取り出して扱うこともある。(それに伴い、授業スケジュールが調整されることもある)	

第1回	テーマ：ゲーム理論の基礎(1) 内 容：戦略的環境の本質、戦略型ゲーム 教科書 第4章 4.1 4.2
第2回	テーマ：ゲーム理論の基礎(2) 内 容：戦略型ゲームの均衡、展開型ゲーム 教科書 第4章 4.3 4.4
第3回	テーマ：ゲーム論の基礎(3) 内 容：展開型ゲームの均衡 教科書 第4章 4.5
第4回	テーマ：不完全競争(1) 内 容：価格支配力の源泉、独占市場 教科書 第5章 5.1 5.2
第5回	テーマ：不完全競争(2) 内 容：寡占市場：クールノー・ゲーム、シュタッケルベルク・ゲーム 教科書 第5章 5.3 5.4
第6回	テーマ：不完全競争(3) 内 容：寡占市場：ベルトラン・ゲーム 教科書 第5章 5.5
第7回	テーマ：不確実性 (1) 内 容：不確実性下での意思決定：期待効用理論 教科書 第6章 6.1
第8回	テーマ：不確実性 (2) 内 容：不確実性下での市場取引：リスクシェアリング、情報の非対称性と契約理論 教科書 第6章 6.2 6.3
第9回	テーマ：情報の非対称性(1) 内 容：事前の情報の非対称性：逆選択とシグナリング、モラルハザード 教科書 第6章 6.4 6.5
第10回	テーマ：情報の非対称性(2) 内 容：応用例：情報の非対称性と政策、オークションの理論 教科書 第6章 6.6 6.7
第11回	テーマ：期待効用理論を超えて 内 容：プロスペクト理論、行動経済学 教科書 第6章 6.8
第12回	テーマ：外部性(1) 内 容：外部性、外部性の交渉による解決：コースの定理 教科書 第7章 7.1 7.2
第13回	テーマ：外部性(2) 内 容：外部性の内部化：排出割り当て、ピグー税・補助金、2点セット政策 教科書 第7章 7.3 7.4 7.5
第14回	テーマ：公共財(1) 内 容：公共財、公共財の最適供給条件：サミュエルソン条件、公共財の私的供給：ただ乗り問題 教科書 第7章 7.6 7.7 7.8
第15回	テーマ：公共財(2) 内 容：公共財の公的供給：リンダール均衡、クラーク・メカニズム 教科書 第7章 7.9 7.10